

藤岡南地域

自治力見える化カルテ (1/2)

地域概要 (地域の構造)

基礎データ (平成30年4月1日現在)

【位置図】



【地域特性】

藤岡南地域は、平成23年4月の藤岡南中学校設立に伴い、藤岡地域から分離された。

豊田都市計画区域に含まれ、西中山町の一部の市街化区域と、深見町と田茂平町の一部の工業専用地域を除き、市街化調整区域で構成されている。

昭和47年に猿投グリーンロード、また平成17年には東海環状自動車道が開通し交通アクセスが飛躍的に向上した。

地域内にある緑化センター(県)と昭和の森(県)では、春と秋にみどりフェスティバルを開催しており、季節ごとに色とりどりの草花を楽しむことができる。

面積	13.09 km ²	(1.4%)	[市 918.32 km ²]
人口密度	783 人/km ²	(169.5%)	[市 462 人/km ²]
人口	10,248 人	(2.4%)	[市 424,500 人]
男性	5,269 人	(2.4%)	[市 221,768 人]
女性	4,979 人	(2.5%)	[市 202,732 人]
うち外国人人口	184 人	(1.1%)	[市 16,327 人]
世帯数	3,641 世帯	(2.0%)	[市 178,410 世帯]
平均年齢	40.91 歳	(△1.8歳)	[市 42.73 歳]

【人口】

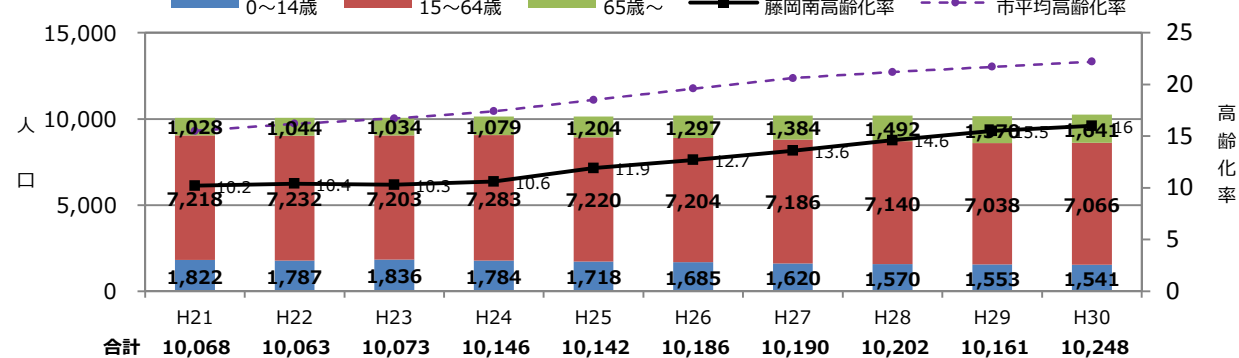
【年齢4区分別人口の推移】 (単位:人、%)

	H25	H30	増減数	増減率
合計	10,142	10,248	106	1.0
0~14歳	1,718	1,541	△177	△10.3
15~64歳	7,220	7,066	△154	△2.1
65歳~	1,204	1,641	437	36.3
75歳~(再掲)	468	606	138	29.5
高齢化率	11.87	16.01	4.14	34.89

【人口動態】 (単位:人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
合計	44	4	12	△41	87
自然増減	30	33	16	10	26
社会増減	14	△29	△4	△51	61

【人口推移】



地域自治

出典: H29地域自治システム評価アンケート

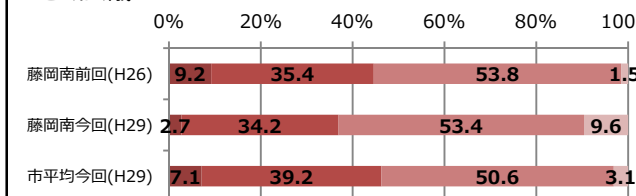
【地域課題】 (地域の課題認識が高い順) (単位: %)

課題・問題点の項目	藤岡南	豊田市	差
交通安全対策の推進	54.8	53.9	0.9
生活道路・交通をスムーズにすること	46.5	45.4	1.1
公共交通機関の充実	43.9	44.3	△0.4
防犯対策の強化	43.8	40.5	3.3
買い物の不便の解消	42.5	43.8	△1.3
子育ての支援の充実	41.1	38.1	3.0
医療の充実	41.1	47.2	△6.1
防災対策の充実	39.7	36.8	2.9
鳥獣害対策の強化	39.7	28.9	10.8
豊かな自然環境の保全	39.7	40.3	△0.6
高齢者の生きがいづくりの場などの充実	38.3	38.0	0.3
福祉対策の充実	34.3	31.8	2.5
広場、公園などの施設の整備	34.2	39.5	△5.3
空き家や耕作放棄地の対策の強化	34.2	32.8	1.4
若年層の定住促進策の拡充	32.9	33.6	△0.7
近所での働き口の創出	31.5	25.8	5.7
農業・農地を保全すること	31.5	26.2	5.3
住民同士の交流の場や機会の拡充	30.2	34.2	△4.0
郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生	30.1	32.0	△1.9
市街地の活性化と魅力づくりの推進	27.4	31.3	△3.9
観光によるまちづくりの推進	26.0	18.9	7.1

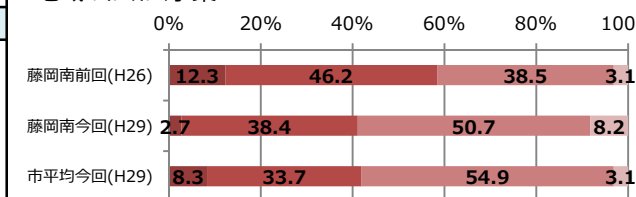
【地域自治システム認知度】

知っている 聞いたことはある 知らない 回答なし

◎ 地域会議



◎ 地域のわくわく事業



◎ 地域の地域予算提案事業



【コメント (地域概要)】

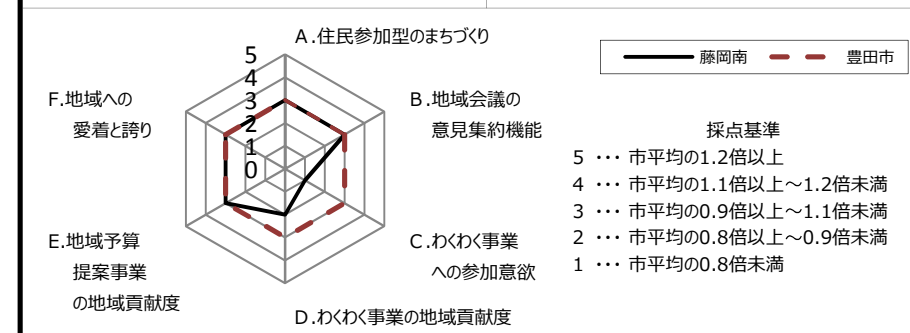
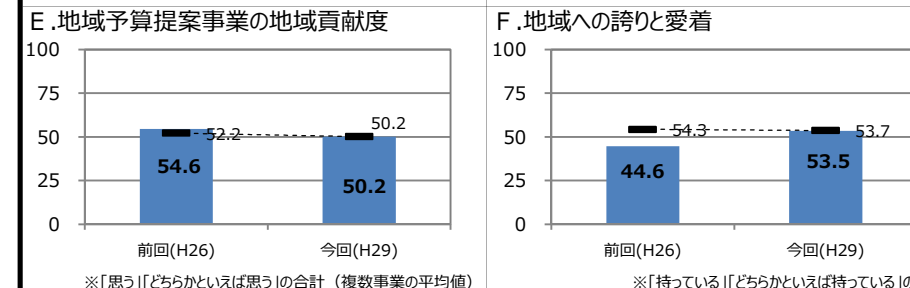
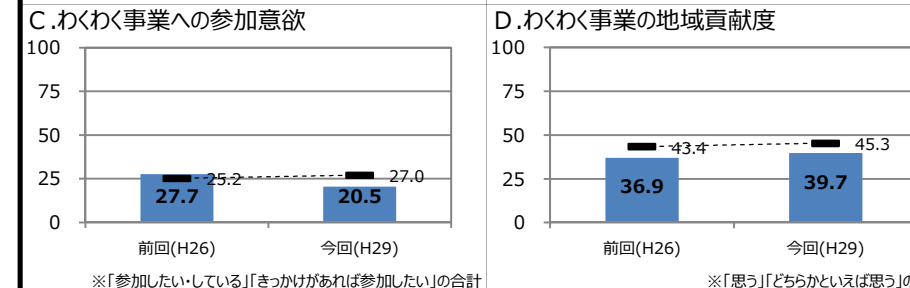
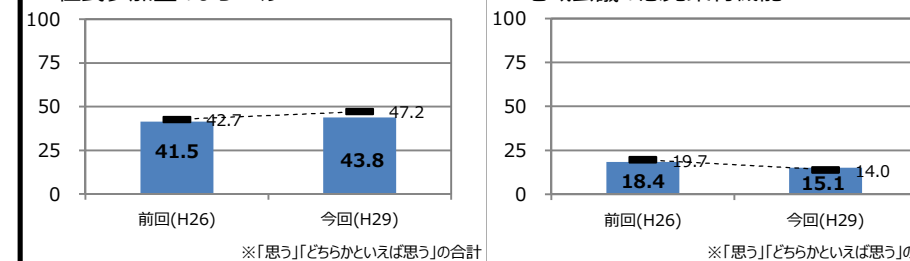
当地域は、住宅が建設され住民が増加傾向にある特徴から、「交通安全対策の推進」、「生活道路・交通をスムーズにすること」、「公共交通機関の充実」と交通対策に関する地域課題が上位を占める結果となっている。地域自治システムについては、地域会議、わくわく事業の認知度をさらに向上させるため、住民への取組を見える化して認知度向上をめざす。

意識 (アンケートから診る意識面の自治力)

出典: 地域自治システム評価アンケート

意識面自治力の推移 (レーダーチャート)

藤岡南 豊田市 (単位: %)

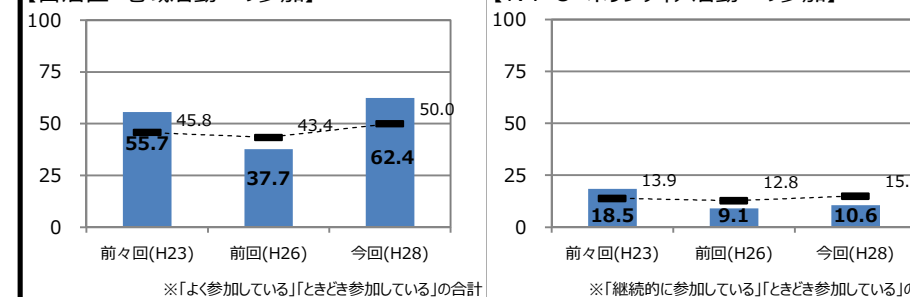


行動1 (アンケートから診る行動面の自治力)

出典: 市民意識調査

行動面自治力の推移

藤岡南 豊田市 (単位: %)



【コメント (意識及び行動1)】

藤岡南地域では、意識面自治力は市平均と比較して上回るものがなかった。中でも「わくわく事業の地域貢献度」に対する評価は上昇している一方で、「わくわく事業への参加意欲」は低くなっている。自治区・地域活動へ参加する住民が増加しているなか、地域の課題に向かって行動できる人材育成が必要である。

自治力見える化カルテ（2 / 2）

行動2（分野別取組から診る行動面の自治力）

健康	交流館自主グループ	4 団体	わくわく事業関連団体	団体	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体
	スポーツ推進委員	5 名	ヘルスサポートリーダー	13 名	民生委員児童委員	13 名	お元気ですかボランティア	3 名
福祉	高齢者クラブ	4 団体	その他団体	団体	ささえあいネット	70 団体	その他団体	団体
	活動例：【西中山さくら会】 全会員を対象として西中山区民会館周辺の美化活動、八柱神社の掃除、マレットゴルフ大会など年間計画に基づいた活動に取り組んでいる。また、手芸、銭太鼓など個人の趣味を生かしたクラブが8つあり、毎月和気あいあいと取り組んでいる。				活動例：【民生委員】 自治区と連携しながら、ひとり暮らし高齢者等に声かけや訪問を行っている。			
コメント：高齢者数が増加するなか、高齢者クラブへの加入促進を図り、健康管理、仲間づくり、地域との関わりを一層深めていく必要がある。				コメント：民生委員が地域福祉の中心を担う。人口が多く災害時要支援者への対応が難しい。				
観光・産業	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体	交流館自主グループ	6 団体	わくわく事業関連団体	3 団体
	その他団体	団体	—	—	その他団体	団体	—	—
活動例：【 】				活動例：【藤岡歌舞伎、ふじなん踊り連】 藤岡歌舞伎は、小中学校を対象に歌舞伎の指導、実演を行い、ふじまつりなどで上演を行っている。ふじなん踊り連は、藤岡で親しまれてきた「藤岡音頭」、「藤岡小唄」などの復活を目指して活動を行っている。				
コメント：				コメント：伝統文化を継承することで、地域への誇りと愛着を促進する取組が続けられている。				
環境・景観	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	1 団体	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体
	その他団体	団体	—	—	自主防犯団体	7 団体	自主防災会	6 団体
活動例：【西中山自治区】 西中山山川周辺や西中山大池周囲の環境整備を通して、地域住民のふれあいと住みやすい地域づくりを目指している。西中山川の浄化活動は、子どもたちへの環境学習の機会の場にもなっている。				活動例：【ふじおか防災クラブ】 元々はわくわく事業団体であったが、自立して活動の場を広げている。藤岡地区で過去に起こった47災害を風化させないために、小中学校や地域へ防災意識の啓発を行っている。				
コメント：小学校や子ども会と連携した継続可能な安定した取組となっている。				コメント：ふじおか防災クラブのアドバイスを受け、旭地域でも旭GS（減災）ボランティアが誕生した。				
子どもの健全育成	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	団体	交流館自主グループ	2 団体	わくわく事業関連団体	団体
	主任児童委員	3 名	放課後児童クラブ	1 団体	その他団体	団体	—	—
活動例：				活動例：				
コメント：				コメント：				
その他	【藤岡南中学校「地域の活動をもち上げよう」】 藤岡南中学校では、生徒の地域貢献活動を推進しており、藤岡南防災フェスタ、藤岡南ふれあいフェスティバルを通じて、地域との関係を深めている。今後は、区長会やコミュニティ会議との連携も図り、活動規模を拡大する予定である。				【藤岡南コミュニティ会議 青少年育成部会】 子ども達や地域の方々笑顔で住みよい町で過ごせるよう、見守りパトロール、社会を明るくする運動を通じて、将来を担う人材を育成する活動を続けている。			
	コメント：生徒にとって、地域への貢献意識の醸成に繋がっている。				コメント：安心・安全なまちに子ども達が住み続けられ、成長できるよう、日頃から積極的に活動している。			

【コメント（行動2）】

・福祉分野の「ささえあいネット」の団体数が前回の調査時より10団体増加し、当地域の高齢化率16.1%は5年前と比較し、4.14ポイント上昇した。微増に進む高齢化に対し、高齢者に対する日頃の見守り、徘徊時の捜索等への協力体制はさらに強化していきたい取組みである。また、高齢者だけではなく支援を必要とする若者に対する活動も今後は必要である。

・わくわく事業では、自治区が主体となって川環境の整備事業やマレットゴルフ場の整備・運営、地域の伝統文化である藤岡歌舞伎の継承、盆踊りの復活など、地域への愛着を醸成するため積極的に取り組んでいる。

行動3（事業の展開から診る行動面の自治力）

【わくわく事業実績】											
事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
①保健、医療、福祉の推進				3	2	1					
②地域の伝統、文化、郷土芸能又はスポーツの振興				1	1	1	2	4	6	3	
③安心・安全な地域づくり											
④地域の生活環境改善、景観づくり 自然環境保全				3	4	2	2	2	1	1	
⑤子どもの健全育成				2	1	2	1	1			
⑥地域の特性を生かした産業振興											
⑦地域づくりに有効な助言や提案を受けるための事業								1	1	1	
⑧その他個性豊かな住みよい地域社会を構築するための事業											
事業件数（件）				9	8	6	6	8	8	4	
実績額（千円）				4,036	3,905	2,987	2,876	3,039	3,108	1,859	
※H30は、平成30年7月31日現在											
【地域予算提案事業実績】											
事業名	事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
犯罪に強い地域づくり事業	防犯対策			2,524	3,388						
安全で快適な歩行空間づくり事業	交通安全			3,955	2,480	574					
健康づくり事業	健康増進			1,205	1,442	1,342	1,114	975	225	280	333
災害時の自助・共助力事業	防災対策				1,114	76	379	50			
ふじおか再発見事業	観光交流					5,456	667				
ウォーキングでまちづくり事業	健康増進						525	317	318		
通学路の安全向上事業	交通安全								2,671	771	360
犯罪のないまちづくり事業	防犯対策									470	612
ふじおか回遊促進事業	観光交流										5,310
実績額（千円）											
				7,684	8,424	7,448	2,685	1,342	3,214	1,521	6,615
※H30は当初予算額											

【コメント（行動3）】

わくわく事業においては、活動団体数が半減し、自ら課題解決にむけて行動する人材を育成する必要である。

H26の地域課題の第1位は「防犯対策の強化 55.4%」であったが、H29の調査では第4位「43.8%」と課題意識が低くなった。平成29年度から地域予算提案事業で「犯罪のないまちづくり事業」が実施されているが、個人への犯罪の手口は流動的であるため、小中学校等での出前講座、高齢者に対する講習会は今後も継続していく仕組みづくりが必要である。

総評

藤岡南地域は、平成23年に設立されて以来、防災フェスタ、ふれあいフェスタの企画運営など地域の住民さらには将来を担う中学生とともにまちづくりを進めてきた。

市の施策満足度「観光まちづくりの推進」は、藤岡南地域内で最下位という結果であるが、平成30年度から地域予算提案事業「ふじおか回遊促進事業」を実施し、藤岡地区と合同で課題解決への取り組みを始めている。観光資源「愛知県緑化センター・昭和の森」の来場者は年間100万人を超え、周遊拠点の1つとして活かせる資源を持っているので、この資源を活かし、地域住民と行政がともに考え、行動することで地域課題の解決を目指していく。

住宅開発が進み、増加し続ける転入者が「地域への誇りと愛着」が持てる地域となるよう、あらゆる住民の課題を把握し、地域会議が意見集約機能を果たし、より多くの住民が地域活動に参加する地域を目指していく。